

ALS療養者の社会参加を支援する

アルバイト・ヘルパー募集

勤務地：川崎市麻生区

おとなヘルパーがていねいに教えます。いち早く実地を経験しよう！

仕事

ALS療養者の安定した日常を作り、社会参加を支援します

食事や排泄、着替えなどの介助、外出の同行、パソコン体勢の調整、透明文字盤の読み取り、見守りなど。(見守りの時間は自由に過ごしてください)

時間

① 8時～17時(休日) ② 17時～22時

応相談 ②勤務は、まかないあり

給与

時給1,320円～

交通費支給、賞与あり、昇給あり

資格

不要 重度訪問介護ヘルパー研修を受けていただきます(受講料会社負担)

勤務地

小田急多摩線栗平駅から徒歩8分

事業所：そうはつ介護ステーション(川崎市事業所番号 1415600749)

経営：創発計画株式会社 介護事業部



高野元(たかのはじめ)といいます。川崎市麻生区在住の59歳、筋萎縮性側索硬化症(ALS)の患者です。すでに全身がほとんど動かない重度障害者ですが、積極的に社会参加したいので、活動を支援してくださる方を募集しています。

※QRコードから私のブログへ <http://blog.gentak.info/>

まずは遊びに来てください。仕事の内容を詳しく説明させていただきます。

ご連絡・お問い合わせはメールかお電話でお願いします。

メール

oubo1@kg.souhatsu-keikaku.jp

電話

080-2554-3037

ほがらかで好奇心旺盛な方を求めています

重度障害者の生活はとかく暗くなりがちで、健常者からは想像しにくいことも多いです。日々を楽しく過ごすために、ほがらかで好奇心旺盛な方を求めています。介護福祉の経験がなくても、好奇心が仕事を覚える原動力になります。私は積極的な社会参加を望んでいるので、毎日が小さなチャレンジの連続です。一緒に取り組むことで、対等な関係を築くことができるといいですね。



生活介助

誤嚥防止手術をしているので口から食べられますが、腕が動かないので介助が必要です。キザミやミキサーして飲み込みやすくした食べ物を口まで運んでもらいます。この他に、トイレ、着替え、姿勢の調整など、日常生活の全てに介助が必要です。



コミュニケーション介助

しゃべれないので、簡単な会話は透明文字盤を使って行います。お互いの視線を合わせて、一文字ずつ拾って文を作ります。複雑な文章は、パソコンを視線入力で操作してつづります。視線を合わせやすい体制を整えるのも、介助の一つです。



医療的ケア

介護ヘルパーでも研修を受けることで、痰吸引や胃ろうなどの医療的ケアを行うことができます。もちろん訪問看護師が指導し、相談にも乗ってくれます。また、痰の自動吸引器の利用で、ヘルパーと本人の負担を軽減しています。



外出支援

車いすに乗り、電車や車を使って、通院や患者会、講演や講義に出かけます。外出は荷物が多いので、2-3人でチームを組んでもらいます。仕事だけでなく遊びも大切です。友人を集めたイベントを開催することもあります。

はじめまして高野元といいます

たかのはじめ 川崎市麻生区に住む、59歳・男性です。

大企業のネットビジネス部門、ベンチャー企業の技術責任者を経て、2011年に創発計画株式会社を創業し、事業開発コンサルティングを手掛けていました。

2014年秋にALSの告知を受け、2016年春に胃ろう造設手術、2017年春に誤嚥防止・気管切開手術。現在、要介護5、障害支援区分6の最重度の障害者です。

自らの経験をもとに、ALSを始めとする神経難病患者が積極的に社会参加できる仕組みづくりに取り組んでいます。